

第13回（平成30年度）

鶴岡市芸術祭参加公演総括表

（40公演49団体の実施報告のまとめ）

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会

目次

1. 鶴岡市芸術祭のための会議等	……	1 ページ
2. 参加公演実施状況一覧	……	2 ～ 4 ページ
3. 鶴岡市芸術祭賞受賞団体一覧	……	5 ページ
4. 参加公演実施団体による反省点と来年度への抱負	……	6 ～ 12 ページ
5. 各地域文化祭(協賛事業)実施状況一覧	……	13 ページ
6. 各地域文化祭(協賛事業)の反省点と来年度への抱負	……	14 ～ 16 ページ
7. 鶴岡市芸術祭参加公演数等の推移	……	17 ～ 18 ページ
8. 関連事業など	……	19 ページ
9. 第56回県民芸術祭開幕事業・ 第13回鶴岡市芸術祭開幕式典 実施内容	……	20 ページ

今年度は、約20年ぶりに鶴岡市が開催地となり「第56回県民芸術祭開幕式典」が開催されました。荘銀タクト鶴岡の本緞帳の原画「水神」に発想を得て制作されたオリジナル総合舞台を、鶴岡市芸術文化協会加盟団体のほぼ全てが「水のファンタジー いのちの輝き」に出演・上演し、県民芸術祭の幕開けを盛り上げました。

また、会場となった荘銀タクト鶴岡のエントランスホールでは、オープニングセレモニーとして「各種展示・呈茶・歓迎アトラクション」で、ご来場の皆様をお迎えし、芸術文化に触れるひとときを、過ごしていただきました。

県内各地域より多くの方々にご来場いただき、鶴岡市の芸術文化の発信ができ、広くPRする事ができた機会となりました。



1. 鶴岡市芸術祭運営推進のための会議等

❖NPO芸術文化協会 芸術委員会

- ❖第1回 平成30年 6月 1日(金) 午前10時～(アートフォーラム) 芸術祭開催について
- ❖第2回 平成30年 7月 18日(火) 午前10時～(アートフォーラム) 芸術祭参加団体合同会議
芸術祭協賛金・開幕式典について
- ❖第3回 平成30年12月13日(木) 午前10時～(アートフォーラム) 芸術祭賞授賞団体の決定について
- ❖第4回 平成31年 2月 20日(水) 午前10時～(アートフォーラム) 芸術祭の総合反省について(総括等)

❖第56回県民芸術祭開幕式典・第13回鶴岡市芸術祭開幕式典

～開催内容の詳細については、P20へ別途掲載あり～

- ❖日時 平成30年9月2日(日)午後1時30分～
- ❖会場 荘銀タクト鶴岡(鶴岡市文化会館)
- ❖参加人数 約 900名

❖閉幕のつどい

- ❖日時 平成30年12月23日(日・祝)午後2時～
- ❖会場 東京第一ホテル鶴岡 鳳凰の間
- ❖参加人数 203名

❖参加公演

- ❖参加公演数 40公演(県参加 26公演)
- ❖参加団体数 49団体(県参加 34団体)
- ❖参加人数合計 3,223名
- ❖入場者数合計 24,782名

❖賛助公演

- ❖2公演

❖協賛者

- ❖協賛者数 709件
(個人、企業、団体等)
- ❖協賛金合計金額 1,479,000円

❖芸術祭賞選考委員会 (選考委員21名)

- ❖委員長 : 小林 達夫
- ❖副委員長 : 後藤 和夫、小林 良市
- ❖委員 : 中里 欣一、小林 功、久保田 豊、堀 公明
藤間 静貴久、伊達 克夫、佐藤 晃、佐藤 政一、市川 清治
五十嵐 重良、佐藤 宗倅、小澤 紀美、三浦 恒祺
日向 常浩、佐藤よし子、梅津 芳春、柿崎 泰裕、小林 宗健
- ❖第1回選考委員会 平成30年 7月 18日(水) 午後1時30分～(アートフォーラム)
- ❖第2回選考委員会 平成30年12月11日(木) 午後2時～(アートフォーラム)
- ❖部門別小委員会 邦楽、日舞、民謡・民舞、吟詠部門 : 11月26日(月)
洋楽部門 : 11月27日(火) 洋舞・演劇部門 : 11月26日(月)
展示・茶道・華道部門 : 12月1日(土)
文芸部門 : 10月30日(火) 大衆芸能部門 : 10月29日(月)

❖芸術祭賞

❖大賞

- 創流35周年記念 柏樹流舞踊公演 (主催: 日本舞踊 柏樹流)

❖優秀賞(7団体)

- 朝日俳句・短歌・川柳合同展 (主催: 朝日俳句の会)
- 第84回つるおか小品盆栽展 (主催: 鶴岡小品盆栽会)
- 如月会水墨画展 (主催: 如月会)
- 八沢会 唄と踊りのつどい (主催: 八沢会)
- みんなの音楽会「鶴岡放送児童合唱団定期演奏会」
(主催: 鶴岡放送児童合唱団)
- バウムクーヘン オータムコンサート (主催: バウムクーヘン)
- 第78回公演「ゴロゴロ五郎太落っこちた」(主催: 劇団だいこん座)

2. 参加公演実施状況一覧

(公演順)

第13回鶴岡市芸術祭特別参加団体公演

※協賛者証入場者数は報告書に記載分のみ掲載

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品作 品数	入場者 (延)数	協賛者証 入場者数
特2	鶴岡土曜会混声合唱団 第67回定期演奏会	鶴岡土曜会混声合唱団	12/8(土)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋楽	鶴岡	○	67	-	950	26
特1	第70回 荘内書道展覧会	鶴岡書道会	11/1(木)~11/4(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	1,300	1,300	2,000	

第13回鶴岡市芸術祭参加団体公演

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品作 品数	入場者 (延)数	協賛者証 入場者数
1	創立94周年・平成30年度白甕社美術展(公募)	白甕社	9/1(土)~9/12(水)	アートフォーラム	有料	展示	鶴岡	○	170	205	2,600	496
2	第54回「さゞ波会 民謡と舞踊のつどい」	さゞ波会	9/9(日)	中央公民館	無料	民謡・民舞	鶴岡	○	24	-	400	3
3	第17回 田川民話の会 語り市 んだば、語てみっがの。朝日宿	田川民話の会	9/9(日)	健康の里ふっくら	無料	民俗芸能	鶴岡		16	-	50	0
4	鶴岡ウインドオーケストラ・秋の公演2018 オータムナイトコンサート	鶴岡ウインドオーケストラ	9/9(日)	アートフォーラム	無料	洋楽	鶴岡	○	35	-	170	8
5	如月会水墨画展	如月会	9/20(木)~9/23(日)	中央公民館	無料	展示	鶴岡	○	17	51	223	10
6	あつみ作品展	粕谷書道教室ほか	9/21(金)~9/24(月)	温海ふれあい センター	無料	展示	温海		37	100	200	
7	第40回記念 佳陽会日本画展	佳陽会	9/21(金)~9/30(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	15	102	1,042	
8	日本舞踊千川流 鶴岡舞踊会	日本舞踊 千川流	9/22(土)	荘銀タクト鶴岡	有料	日舞	鶴岡		43	-	420	20
9	裏千家 秋の茶会	茶道裏千家淡交会 庄内支部鶴岡地区	9/23(日)	出羽庄内国際村	有料	茶道	鶴岡		40	-	300	12
10	第49回 錦心流琵琶演奏会	錦心流琵琶全国一水会 鶴岡支部	9/23(日)	中央公民館	無料	邦楽	鶴岡	○	11	-	200	50

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品作 品数	入場者 (延)数	協賛者証 入場者数
11	遠州流茶会	遠州流茶道山形支部	9/30(日)	アートフォーラム	有料	茶道	鶴岡		63	-	250	8
12	第29回 鶴岡和紙ちぎり絵サークル展	鶴岡和紙ちぎり絵サークル	10/4(木)~10/8(月)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	24	225	762	
13	創流35周年記念 柏樹流舞踊公演	日本舞踊 柏樹流	10/7(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	日舞	鶴岡	○	25	-	750	25
14	スイング・クレインズ・ジャズ・オーケストラ 第19回定期演奏会	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ	10/8(月)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋楽	鶴岡	○	20	-	1,000	65
15	第84回 つるおか小品盆栽展	鶴岡小品盆栽会	10/12(金)~10/14(日)	中央公民館	無料	展示	鶴岡	○	11	100	240	
16	第56回 鶴岡市合同短歌会	第56回鶴岡市合同短歌会 実行委員会	10/14(日)	アートフォーラム	有料	文芸	鶴岡	○	53	-	44	
17	第33回 八沢会唄と踊りのつどい	八沢会	10/14(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	民謡・民舞	鶴岡		60	-	500	30
18	日本九重流鶴城清吟会 第42回吟詠大会	日本九重流鶴城清吟会	10/14(日)	中央公民館	無料	吟詠	鶴岡	○	180	-	350	0
19	第55回 各流派合同いけばな展	鶴岡市いけばな7流派	10/20(土)~10/21(日)	アートフォーラム	有料	展示	鶴岡	○	176	179	2,959	67
20	日本九重流朝暘清吟会 第138回大会「吟と剣詩舞」の構成	日本九重流朝暘清吟会	10/21(日)	東京第一ホテル鶴岡	無料	吟詠	鶴岡	○	77	-	350	
21	第25回 飛雲会展	書道研究飛雲会	10/24(水)~10/28(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	36	65	380	40
22	一東書道会鶴岡支部畊雅会 36周年かな書作展 扇面に親しむ	一東書道会鶴岡支部畊雅会	10/26(金)~10/28(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡		20	56	244	10
23	朝日俳句・短歌・川柳合同展	朝日俳句の会ほか	10/27(土)~11/4(日)	朝日中央コミセン すまいる	無料	文芸	朝日		272	296	440	
24	表千家流茶会	表千家同門会 山形県支部庄内地区	10/28(日)	致道館	有料	茶道	鶴岡		30	-	270	14
25	第31回 庄内なつメロ会発表会 歌と踊りのチャリティショー	庄内なつメロ会	10/28(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	大衆芸能	鶴岡		34	-	803	188

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品作 品数	入場者 (延)数	協賛者証 入場者数
26	第25回 庄内写真研究会写真展	庄内写真研究会	10/31(水)~11/4(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	7	66	700	2
27	みんなの音楽会 「鶴岡放送児童合唱団定期演奏会」	鶴岡放送児童合唱団	11/3(土)	中央公民館	有料	洋楽	鶴岡	○	26	-	400	9
28	フォトサロン写楽 写真展覧会	フォトサロン写楽	11/7(水)~11/11(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	8	105	1,228	
29	第6回 フォト・アイ写真展	フォト・アイ	11/7(水)~11/11(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	10	70	867	55
30	宝生流 観世流合同謡曲大会	宝生流鶴岡五雲会 庄内謡曲愛好会	11/11(日)	東田川文化記念館 明治ホール	無料	吟詠	鶴岡		27	-	45	1
31	創設90年記念 吉統舞踊学園 現代舞踊公演	吉統舞踊学園	11/11(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋舞	鶴岡	○	45	-	820	15
32	秋季さつき盆栽展示会	鶴岡さつき盆栽研究会	11/16(金)~11/18(日)	中央公民館	無料	展示	鶴岡	○	17	85	215	35
33	劇団だいこん座 第78回公演 「ゴロゴロ五郎太落っこちた」	劇団だいこん座	11/17(土)	中央公民館	有料	演劇	鶴岡		8	-	340	27
34	バウムクーヘン オータムコンサート	バウムクーヘン	11/23(金)	荘銀タクト鶴岡	無料	洋楽	鶴岡	○	94	-	600	6
35	鶴岡剣聖会「剣と扇の舞」	剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会	11/23(金)	東京第一ホテル鶴岡	無料	吟詠	鶴岡		24	-	230	25
36	ViViバレエ56周年特別公演 「眠れる森の美女」全幕	ViViバレエスタジオ	11/25(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋舞	鶴岡		50	-	560	50
37	第11回 写団はぐる会員写真展	写団はぐる	11/29(木)~12/2(日)	アートフォーラム	無料	展示	羽黒	○	8	69	420	
38	鶴岡吹奏楽団 第34回定期演奏会	鶴岡吹奏楽団	12/9(日)	荘銀タクト鶴岡	有料	洋楽	鶴岡	○	43	-	460	13
合 計								26	3,223	3,074	24,782	1,310

3. 鶴岡市芸術祭賞受賞団体一覧

	公演名	主催	代表	部門	受賞理由
大賞	創流35周年記念 柏樹流舞踊公演	日本舞踊 柏樹流	柏樹 京徳	邦楽・日舞・ 民謡、民舞・ 吟詠部門	今年、創流35周年にふさわしく一段と華やかな公演となった。美しい庄内の風景（映像）をバックにした舞踊には、日頃の精進・研鑽の跡が如実に結実し、その迫力には観客も大いに魅了されていた。舞台構成・振付・演出等も高く評価でき、古典舞踊を基礎とした柏樹流の面目躍如した見事な公演であった。
優秀賞	朝日俳句・短歌・川柳 合同展	朝日俳句の会	小野寺 一郎	文芸部門	大部分が小中学生の俳句の展示で、合計261句を詠むことができる。展示の句は総て自筆で、小学1・2年生は、ひらがなで出品し、俳句への意気込みを感じられた。また、だだちや豆・六十里・山・川など自然を詠んだ句も多く、郷土への愛着が感じられる。
	第84回 つるおか小品盆栽展	鶴岡小品盆栽会	上林 節男	展示・茶道・ 華道部門	会員11名が、1年間丹精込め育てた小品盆栽展。秋の情景をイメージし、一席4～7鉢を配した席飾り15席と一点飾り100鉢を展示した。松柏、雑木、実物、草物など多彩で、秀品揃い。会場には愛好者が多く訪れ、不順天候下での管理の苦労話など盆栽談義に花が咲いていた。日本の伝統芸術である盆栽を通じ、鶴岡の芸術文化振興の一翼を担っている。
	如月会水墨画展	如月会	梅本 幸仙	展示・茶道・ 華道部門	会員による水墨画展。出品は、会員14名44点および協賛として上野竹仙顧問の1点である。最上川、月山、庄内海岸、花々など四季美しく移ろう古里の風景を描いている。水墨画は墨一色で表現されるが、濃淡・滲み・ぼかしなどの技法を駆使し幽玄の世界が描かれていた。
	八沢会 唄と踊りのつどい	八沢会	鈴木 末	邦楽・日舞・ 民謡、民舞・ 吟詠部門	地域への温かいまなざしを感じさせる公演は、毎年多くの人達の共感を呼び、楽しい人生のあり方を唄と舞踊を通して、観客との一体感を醸成し続けている。今年もまた観客と一つになり、生きる力を与えてくれる公演であった。これからも福祉活動を通して、多くの人々に感動を与えつつ、健康で明るい郷土づくりに貢献されることを切に期待する。
	みんなの音楽会 「鶴岡放送児童合唱団 定期演奏会」	鶴岡放送児童合唱団	伴 和香子	洋楽部門	児童合唱団は子供故に難しさがあるが、夢もまた豊富である。今回の演奏はかつてないほど、統制された発声は見事なものであった。自然な呼吸をもって歌う子供達の歌は、低い音から高い音まで自然で美しい。声が美しいばかりではなく、演奏は指揮をよく理解した歌い方に統一され、どの子もしっかりとした見事な歌唱法による演奏であった。
	バウムクーヘン オータムコンサート	バウムクーヘン	中山 祥子	洋楽部門	長い歴史を持つこの会は、音楽教室を抱える先生が切磋琢磨しつつ運営している。演奏は、幼い園児から大学院生まで広い範囲にわたっている。ここで経験した子ども達は、しっかり音楽に関わる者として成長している。
	第78回公演 「ゴロゴロ五郎太 落っこちた」	劇団だいこん座	佐藤 秀樹	洋舞・演劇 部門	雷の子と人間の女の子が出会い、二人の冒険を通して自然の大切さや、環境破壊、家族の在り方など、今の社会の問題も見えてくる現代版おとぎ話。主演の子役二人が好演し、大人役が脇をがっちり固めて子役を盛り立て、セリフもスムーズで物語のテンポもよく、観客を楽しみ舞台に引き込む公演であった。

4. 参加公演実施団体による反省点と来年度への抱負

※公演内容は、芸術祭参加申込み時点での予定であり、実際の公演内容とは異なる場合があります。

第13回鶴岡市芸術祭特別参加団体公演

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
特1	鶴岡土曜会 混声合唱団 第67回定期演奏会	フォーレのレクイエムをオーケストラ伴奏でお届けする。 またコンクールで挑戦する作品なども演奏。	鶴岡土曜会 混声合唱団	大雪の中、大勢のお客様に恵まれました。 本市出身のソプラノとの共演や初めてタクトでオーケストラとの演奏など私たちにとって、今後の活動のために、たくさん得るものがあった演奏会となりました。	新ホールの初めての演奏会で、入場方法、案内等他団体を参考にし実施しました。今後も円滑に運営できるよう日々工夫して、すばらしい響きのタクトを、気持ち良く使用できるようにしたいです。
特2	第70回 荘内書道展覧会	幼児から中学校まで課題があり、高等学校は自由とし、応募している。一般の部もあり展示している。	鶴岡書道会	前年度より、約100点くらい多くの出品がありました。要項など配布したが、一部資料が足りないということがありました。	多くの出品者、出品数を見込みたいので、実施要項の配布時期を早めたい。

第13回鶴岡市芸術祭参加団体公演

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
1	創立94周年 平成30年度白鷺社美術展 (公募)	種目: 絵画(日本画・油彩・水彩・パステル・アクリル・鉛筆・コラージュ・版画) 彫刻、工芸 約200点	白鷺社	爽やかな芸術の秋を迎え、市芸術祭のトップを切って9月1日開幕しました。異常気象にもかかわらず、一般の応募者が増加、出品点数206点となり、前年度を上回り、出品作品は会員・一般共に個性豊かな力作が揃い、特に高校生の作品が好評を博し活力ある美術展になったと思っています。	来年の白鷺社創立95周年記念展に向けて、会員一同切磋琢磨し充実した記念展となりますよう努力する所存です。現在、広く市民への周知に苦慮しています。市芸術祭後援団体の報道機関の応分の御協力を切望いたします。
2	第54回 「さゞ波会 民謡と舞踊のつどい」	伝承文化の「民謡」を、普及・芸術性にも重点を置く。子供達の民謡参加が楽しみ。踊り10番、唄25番、他5番	さゞ波会	発足以来55年の歴史をもつ、さゞ波会は、地域伝承文化の保存伝承と、娯楽、地域人に脈々と伝わる血、聞く人の心の琴線に触れる事を大切に、会員各々心をこめて演じている。今年新しく小学生二人の登壇は将来楽しみ。	さゞ波会の存在を意義あるものとして、先輩達に誇れるよう、使命感を持って伝承文化継承に務めるべく、会員一同、楽しみながら頑張りたいと思います。
3	第17回 田川民話の会 語り市 んだば、語てみっがの。 朝日宿	地元民話の語り 他	田川民話の会	語りの場の機会均等という事で、出演希望者を募り会員の意欲に揮われ語りを行ったが、やや公演時間の延長をきしてしまい、今後、会員の高齢化などの理由も含め、公演にはアクシデントも当然あるという事を心得たい。	新入会員も最近徐々に増えつつあり、より早く語り手の増加を図る意味からも、マンツーマン態勢で先輩会員は、自分の語りよりも後輩会員指導という形で、出演参加ということも一つの参加方法なのではないだろうか。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
4	鶴岡ウインドオーケストラ 秋の公演2018 オータムナイトコンサート	オータムコンサート と称し幅広い年代層 の方々から気軽に吹 奏楽を楽しんでいた だけのような時間を 提供	鶴岡 ウインドオーケストラ	アートフォーラムのオープンな雰囲気の中、 気軽に吹奏楽を楽しんでいただきたいという 企画のもと開催した第1回目の公演は、沢山 のお客様からご来場いただき、満席・盛況の うちに終了することができ、演奏する者として 至上の喜びでした。	演奏精度・音楽性の向上を目指し、団員 一丸となって練習に励むと共に、多くの の方々から聞いていただけるよう、宣伝広 告に力を注ぐと共に、解りやすい企画 ふっぴん・コンセプトにてお客様と楽しい 時間を共有できるようにしたい。
5	如月会 水墨画展	色紙から屏風の水墨 画、約40点展示	如月会	出品数は52点(昨年比-1)10号～50号(昨年 比-5)軸・色紙～8号(昨年比+6)で、小中サ イズ作品増。全国展上位入賞作から習い初 め作品まで幅広く内容も一層充実した。入場 者数223名でした。	習い初めの人が多く出品し、また経験年 数の長いベテラン者は、より充実向上し た作品となる様にしていきたい。
6	あつみ作品展	書、陶芸、水墨画、 砂絵、写真、生け花 等の展示	粕谷書道教室 ほか	当芸文協会員の作品展として、例年9月に温海 ふれあいセンターにて開催。ここ数年同時期、ス タンウェイピアノの無料開放も開催。庄内一円か ら主に児童・生徒と家族の多くの来館者あり、殆 どが作品展を鑑賞。感謝の呈茶。会員の恒例会 や後継者不足による退会もある中、当会のお試 し講座から波及しサークルへ、そして新規入会の 団体も。	人材発掘と発想の集約及び軸に基づき、 また新たなお人と作品に出会えますよう に。
7	第40回記念 佳陽会日本画展	会員15名による日 本画の発表。今回は 記念展なので、作品 数は例年より多く色 紙も併せて110点 前後	佳陽会	作品数が102点と多かったので、飾り付けの 作業が大変だったが、家族のお手伝い等が あり、スムーズに進んだ。先生の作品等を入 り口からすぐ目つく壁に飾ることができた。 1,000人余りの方に観て頂き喜んでいただけ た。	今回は記念展なので作品数も多いが、次 年度は今回より小規模になると思う。作品 も小さくなるかも知れないが、会員みんな で努力をして、出来るだけ新作を増やし、 魅力ある展覧会にしたい。
8	日本舞踊千川流 鶴岡舞踊会	日本舞踊古典曲、新 舞踊、創作曲、歌舞 伎など	日本舞踊 千川流	演目出演者とお客様が一体化した楽しい舞 台でしたが、入場者数がやや少なく、お客様 への宣伝と観客動員がうまく出来なかった課 題がありました。	古典の伝統を大切にしながら斬新な振付研 究を重ね、あらゆる世代文化の流れに マッチする柔軟な発想をもって創作した いと思います。また、学生に歌舞伎日本 舞踊などに、触れ合う機会を模索してお ります。
9	裏千家 秋の茶会	お茶会 2席 (濃茶席・薄茶席)	茶道裏千家淡交会 庄内支部鶴岡地区	濃茶席、薄茶席の二席の茶会でした。床の 間の茶花、道具の取り合せ等、初秋の風情 をどのようにして席の中で現そうかと苦労しま した。これからも皆様に楽しいお茶を差し上 げられるように頑張っています。	毎年国際村を会場に利用させていただ いていますが、芸術祭の参加行事につ いては、予約を早めに行えるように配慮し てほしい。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
10	第49回 錦心流琵琶演奏会	琵琶11曲（白虎隊、羅生門、敦盛、巖流島、松ヶ岡、屋島の誉、別れの盃、巴御前、姫百合の塔）他 吟詠2題	錦心流琵琶 全国一水会 鶴岡支部	琵琶の観賞を楽しむ方々も少しずつ定着され、ご案内状での効果があり、先ず先ずの観客数となり嬉しく思います。他の邦楽とのコラボや全員での演奏で舞台を賑やかな感じにする等、内容に変化を付けてゆきたい。	来年は、50回目の演奏会ですので、会員の技能向上と曲目・内容ともに充実した演奏となるように努力したい。他の邦楽とのコラボや、本部からの援助を受け盛り上げてゆきたい。
11	遠州流茶会	遠州流茶会 2席	遠州流茶道 山形支部	芸術祭の期間は、他団体の展示・上演もあり、相乗効果も期待するが、不安もあります。天気も悪くならず、ほっとしました。午後もさほど客足は落ちず、例年位の人数でした。お待たせする時間もあまり長くなかったと思う。	会員数も少なくなり、高齢化しているが、来年もまたお茶会を開催したいと思う。来場者の便宜を思うと、駐車場もあって、交通の便が良く、水の使用、適当な広さの会場があれば良いと思う。
12	第29回 鶴岡和紙ちぎり絵 サークル展	①会員による習作、 創作。約70点の展示 ②幼児、児童の体験 講座作品の展示	鶴岡和紙ちぎり絵 サークル	サークル展開催にあたり各グループの代表が集まって計画します。それが功をなし準備当日は全員力を合わせ協力、温かい雰囲気での展示が出来ました。入場者は762名、グループホームの方々が何組も来場、嬉しい結果です。	次年度は30回の記念となります。良いサークル展が出来る様、会員で話し合い計画を立てて行きます。その為には、毎月の例会を大切に真摯に制作に取り組み、和紙の持ち味を生かせる研究に取り組みます。
13	創流35周年記念 柏樹流舞踊公演	創流35周年を記念に 日本舞踊を(かつら 使用)を中心に新舞 踊民謡賛助出演(歌 手)等交えての三部 構成	日本舞踊 柏樹流	今年は創流35年目の記念事業として発表会を行いました。舞台は、かつら・化粧・着付と仕度に時間が掛かるため、お客様の反応を考えて、ゲストの方々に助けていただき、合間をうまく取れて、お陰様で無事終演を向かえる事が出来ました。	来年度は予定していませんが、反省を心にとめ、会員一同さらに日本舞踊に専念し頑張りたいと思います。
14	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ 第19回定期演奏会	ビッグバンドジャズ演奏 第1部ビッグバンド、 第2部ゲストボーカル を迎えてのステージ	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ	鶴岡文化会館での最後の定演のゲストが渡辺真知子さんでしたので、竣工後最初のゲストとしてお願いしました。期待通りのパワフルなステージで我々の演奏も客席も大いに盛り上がり、楽しい演奏会をお届けできました。	ジャズオーケストラとしてダイナミックなステージを創るには、お客様の参加も必要です。来年は、20回目の定演となるので、一層力を入れて企画するつもりです。
15	第84回 つるおか小品盆栽展	会員11名が各々秋 の情景をイメージし 席飾り15席と一点 飾りを総数100点 を出展、来場の皆様 に楽しんでいただく	鶴岡小品盆栽会	会員各自の努力により会場に秋の情景が広がり、特に松の緑と実物の色が調和し来場者の皆様が一点ずつ観賞され、大変共感を得たようです。趣味者同志が備えられた長椅子に座り盆栽談義に花を咲かせていました。	会期中展示品を観て2名の方から入会の打診があり大変うれしく思います。日本の伝統文化である「盆栽」が手軽に身近に扱える「小品盆栽」を多くの人達に楽しんでもらう為に、日頃の活動を今シッカリ行いたい。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
16	第56回 鶴岡市合同短歌会	「茂吉記念館館長」 歌人・文学博士 秋葉 四郎先生を講師に、 投稿作品の批評と 「大人の短歌入門」 などで学びと交流	第56回 鶴岡市合同短歌会 実行委員会	秋葉四郎先生を講師に招き、全出詠者53名の歌評を、わかりやすく丁寧にいただき、また先生への質問・疑問にも答えて下さり、大変勉強になりました。公演の「大人の短歌入門」も好評で有意義な短歌会であったと思います。	今回は若い人からの参加をと、鶴岡の全高校を訪問してチラシを配布。その結果は得られませんでした。それなりの反応を担当者から見られましたので、来年へと繋げたいです。歌会に出て作歌意欲が沸き上がったとの声も聞かれました。
17	第33回 八沢会唄と踊りのつどい	民謡・民舞・新舞踊	八沢会	入場者が満員にはならなかったが、例年通り舞台と観客席が一体となって盛り上がりを見せた。入場の際には、例年通り整理券を配布してスムーズな入場につとめ、トラブルなども無く、公演は好評だった。	会員が高齢化し、加入団体も減少しているが、新規加入者もあり、例年通り発表会を目指して練習を積み重ねてまいります。会員居住の地域、施設などへの貢献も例年通り実施し、さらに会員拡大を目指していきます。
18	日本九重流鶴城清吟会 第42回吟詠大会	『奥の細道』『漢詩 秋に詠う』の構成吟 を剣詩舞・書道で 彩る30吟の公演	日本九重流 鶴城清吟会	「心に残る俳句と漢詩を詠う」をテーマに2題の構成吟を公演した。構成吟Ⅰでは、松尾芭蕉は庄内にどの様な足跡を残したかを演じ、構成吟Ⅱでは、秋の詩情風景を演じた。静の吟詠に動きの伴う剣舞、詩舞、書道を取り入れ、吟と調和した舞台を演出し、会場を引き付けた芸術性高い公演であった。	多くの会員が参加できる態勢と日ごろの研修を充分発揮できるように練習を工夫し、総力をあげての公演にする。来場の市民に感動していただけるような演出をしたい。
19	第55回 各流派合同いけばな展	鶴岡市華道7流派が 合同でいけばなを展示 する 出瓶者数約200名 の予定	鶴岡市 いけばな7流派	7流派176名が各流派の特長を生かしながら各自の個性を発揮した多種多様な作品を展示し、2日間で2,959名の入場者の方々に「秋のいけばな」を楽しんでいただけたと思います。	来年度は元号が変わり、新たな気持ちで各流派が工夫を凝らし、日本の伝統文化である「いけばな」を多くの方に楽しんでいただける花展となるよう、さらに研鑽を積んでいきたいと思っています。
20	日本九重流朝暘清吟会 第138回大会 「吟と剣詩舞」の構成	古(いにしえ)の出羽 三山を詠ず。未公開 作品60首の中からリ ストアップ。 賛助出演:葵電暉流・ 園児の剣舞	日本九重流 朝暘清吟会	出羽三山は西の熊野と並ぶ山岳修験の霊場として古くから栄え年間3万人もの白装束の道者が訪れていた。三山を詠じた漢詩が極めて少ない中であって、上野鳳山の作品60首その一部を「構成吟として」本邦初公開しました。	全て未発表のものを「構成吟とし」。同時に参加者のレベルUPを図り終了後の楽しさも伝わる催しを検討している。
21	第25回 飛雲会展	飛雲会会員による書 道、篆刻作品等の展 示	書道研究飛雲会	広い会場で、書芸術の魅力を最大限発揮するには、墨色や文字の造形美の工夫等であるが、今回も小品から大作(10尺×3尺)と形体も様々あり、形式も楷行草篆隸かな篆刻と多様な中で厳粛な雰囲気が出せた成果は大であった。	年々、技術が向上し表現力も多彩になってきたが、年齢と共に片意地を張らない、新鮮な書芸術を追求していただきたい。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
22	一東書道会 鶴岡支部俳雅会 36周年 かな書作展 扇面に親しむ	書かな作品 約50点他	一東書道会 鶴岡支部俳雅会	今年の展覧会の展示前に業者さんの突然の事故があり、とまどいがありました。皆さんの協力の下、会員が一丸となり作品の飾りつけが出来まして、結束のある展覧会となりました。どんな時も対処出来る自信になりました。	来年は、また原点に戻り、仮名の古典を個々に勉強し直すという事！又初めて古典に触れる生徒には、ていねいに指導していくということに！大変な事ではありませんが、基本を大事に、37周年で発表できるように頑張ります。
23	朝日俳句・短歌・川柳合同展	俳句・短歌・川柳の 作品展示	朝日俳句の会 ほか	俳句部門においては、小中学生のほぼ全員から出品があった。なお、川柳や短歌は出品数が減少傾向にあるので、参加者の拡大が必要と考える。俳句281点、短歌3点、川柳12点で、趣向を凝らした作品が多かった。	今後も小中学生からは数多く出品してもらえるように各学校と連携していくとともに、今まで以上に俳句等に親しんでもらえるよう、児童生徒への指導も行っていきたい。また、会員一同より一層の研鑽に励んでいきたい。
24	表千家流茶会	芸術祭参加にて 表千家流茶会を2席 催ける	表千家同門会 山形県支部 庄内地区	準備の日も含めて雨の心配の2日間でした。この頃雨の日は寒く、待たせるお客様に申し訳なく思いました。いろいろ反省のある中で「おいしかった」という声が嬉しかった。	反省点を持ち帰り、多くのお客様に「おいしいお茶のおもてなし」が出来るよう、関係者で話し合います。
25	第31回 庄内なつメロ会発表会 歌と踊りのチャリティショー	昭和のなつメロから約 40曲と踊り2団体、 プロのゲスト参加を いただき、今年の企画 コーナーはNHK紅白歌 戦をうかがわせる場面 もご披露	庄内なつメロ会	第31回の発表会縮小した会場からの復帰、人員費用共に難題を抱え、スマートな舞台を目標に流行歌の原点に戻り懐かしんでいただきました。高齢の為、多少の事は目をつぐんでいただき好評のご感想で幕を閉じました。	費用の高騰により開催が懸念されますが、それにどれだけ企画とアイデアで対応するか多いに楽しみです。まだ懐メロのファンがいることを確信出来たのでそれも又楽しみです。
26	第25回 庄内写真研究会写真展	参加会員7名で、1人 5点から10点、半切 から全紙までの作品 展示	庄内写真研究会	今年25回目の発表会を迎え、会員独自のテーマを徹底追及の結果、個性豊かな力作を発表する事が出来ました。作品内容は、『みち』をテーマにだれもが通ったことがある『みち』をモノクロで表現し、あの日あの時を想いだす叙情的作品と故郷の山見つめ四季ごとの絶景を撮った作品多数発表しました。ご観覧の皆さんから、全作品から撮影者の熱意と感動が伝わったと大好評をいただきました。	来年度も、全会員それぞれのテーマを追求し、ご観覧の皆さんに熱意と感動が伝わる作品造りに励みたいと思います。
27	みんなの音楽会 「鶴岡放送児童合唱団 定期演奏会」	・やなせたかしの詩に よる二部合唱組曲 「ひざっこぞうのうた」 全6曲・ミュージカル 「幸福な王子」	鶴岡放送児童 合唱団	小学校3年生から中学校3年生までの男女26、名が小品集7曲と組曲6曲、ミュージカル14曲を共に歌い上げた。レパートリーは多様で多彩であり、時にダイナミックに表現力豊かで有り、今年の演奏は素晴らしかった。	団の活動力を牽引する中学生がよい模範を示し小学生と中学生が仲良く、同じ目的や目標を持ち活動出来ている。ミュージカルを演じる事により、演奏する事の喜びが増している。今後も選曲に努め子供の活躍の場に。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
28	フォトサロン写楽 写真展覧会	7名の会員がそれぞれ10数点づつ写真を展示する	フォトサロン写楽	今年度の写真展覧会は「それぞれの視点」をテーマに、会員それぞれの思いで捉えた作品です。「写真は見せるものではない、伝えるもの」をコンセプトにした作品展を開催しました。皆様の心に伝われば幸いに存じます。	来年度も「それぞれの視点」をテーマに被写体に迫り、心に響く作品を目指します。コンセプトは「伝える」。感動を覚えるようなシチュエーションを目指します。これからも、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。
29	第6回 フォト・アイ写真展	会員10名、各自がテーマを設定し、年間を通して撮影した作品の中から5～7点を選び展示する	フォト・アイ	多数の方々に御来場いただき、貴重な感想や意見を賜り、大変有難く思いました。写真の展示の仕方(順番)について検討の必要があった。開催時について、閉館時刻を1時間早めたい。	外部講師を招聘しての研修会の内容を充実させ、撮影技術の向上を目指したい。会員の高齢化に伴い、安全上からみて、展示や撤去の作業が困難になってきている。何か良い方策はないものだろうか。
30	宝生流 観世流 合同謡曲大会	宝生流・観世流の合同発表会 謡曲、仕舞、舞囃子等、参加4団体各1時間を予定	宝生流鶴岡五雲会 庄内謡曲愛好会	日本の伝統文化である謡曲能楽に親しんでいる4つの団体が、流派を越えて一同に会し、日頃の研鑽の成果を披露する会になりました。これから進もうとする小学生も加わり、楽しい集いとなりました。	担当団体が変わりますので、地域の特性に合わせた特色のある開催の仕方、意義のある会になったら、一層励みになるのではないかと思います。それと同時に広がりがあれば、なお良いかと考えます。
31	創設90年記念 吉続舞踊学園 現代舞踊公演	現代舞踊(モダンダンス)の公演 創設90年を記念して、生演奏とのコラボレーション作品も発表する	吉続舞踊学園	好天に恵まれてお客様を心良く迎える事が出来て有難かった。広い舞台にさえ渡る照明が美しく、良い舞台を創れた事がうれしい。受付けや客席の状況を、もっとお客様に最善のものにして開催したい。大成功に感謝です。	良き伝統と活動の歴史を大切に、変えるべきものを変える事によって、変わらぬもの変えてはならないものが解けると言われます。より高みを目標に学ぶ事を忘れず、練習生と共に望ましい成長を続けたい。
32	秋季さつき盆栽展示会	出展数85鉢	鶴岡さつき盆栽 研究会	春の花季展は花を観察し、華やかです。秋季展は鉢の木の樹形(直幹、模様木、値上がり、文人、懸崖)等多く有りますが、それぞれの樹形を觀賞いただくことは一番楽しいと、ご案内致した結果、多くのご来場者よりご賛同いただき盛況に終える事が出来ました。	会員減少により縮小規模になりそうですが、来年度も同一規模で実施できるよう、会員一同奮起致します。会発足以来35年間たち会員の高齢化による減少、新会員入会不足で苦慮致しております。
33	劇団だいこん座 第78回公演 「ゴロゴロ五郎太落っこちた」	舞台演劇の公演	劇団だいこん座	悪天候にもかかわらず、多数の皆様をお迎えできましたことに、まずは感謝いたします。2年ぶりのオリジナル脚本でしたが、主役の3人の成長が著しく、感動したというお声を多く頂戴し、今後の活動の励みとなりました。	今年は県民芸術祭開幕公演が9月にあり、タイトな準備日程でしたが、却って集中した稽古ができたように思います。来年に向けても観客の皆様楽しんでいただける脚本を一番のこだわりとして、創作に励みたいと思います。

No.	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
34	バウムクーヘン オータムコンサート	コンクール受賞者、 受験生、大学生による、 ピアノ・声楽・ 器楽演奏	バウムクーヘン	今年度は荘銀タクト鶴岡が完成してから初めての公演となり、出演した生徒さん達も新しいホールでの演奏を大変喜んでくれました。本番では120%の力を出し素敵なコンサートをお見せする事が出来ました。	音楽を奏でるレベルが一年一年上がってきており、小さな演奏家たちが立派な演奏家へと成長するのを、一人でも多くの方にお届け出来るよう指導者一同、精進して参りたいと思います。
35	鶴岡剣聖会 「剣と扇の舞」	剣聖流剣詩舞 2時間 20演目。テーマは 「日本の心を舞う」 ①もののふの心意気 ②自然・風景の美しさを舞う	剣聖流 剣詩舞鶴岡剣聖会	観客数は年々増加し、常連の方も多く立見客も出るようになりました。(会場の選定)お金をかけず手作りとし、その分舞いに力を注ぎレベルアップが図られたと自負している。気張らず市民の方々と鶴岡の文化づくりに、このステージをつづけたい。	来年6年目を迎えるが、これまでの基本的な形をつづけていく。 (2時間20演目など) 会員の高齢化との課題もあるが、出演者も楽しみ、観客と共に喜びあえるステージをめざし、剣聖流剣詩舞の魅力をこれからも発表していきたい。
36	ViViバレエ 56周年特別公演 「眠れる森の美女」全幕	クラシックバレエ公演 「眠れる森の美女」全幕、 チャイコフスキー作曲 東京よりゲストダンサーを 迎えて(女性8名・男性6名) 出演いただく	ViViバレエスタジオ	眠れる森の美女、全幕公演に向けて、1年以上前から練習に励んできました。新しい会館で舞台装置が付きプロのダンサーと一緒に舞台上に立てた事は生徒にとり、大いに刺激になり励みになり、勉強になった事と思います。	これからも現状に満足せず、常に目標を高く持ち、今回ゲストで来られたダンサーの方々の様に、舞台だけでなく練習に対しても謙虚な姿勢、努力を見習って私も含め行きたいと思います。
37	第11回 写団はぐる会員写真展	庄内地域を主に風景、 祭事イベントを、8～10点の 組み写真を半切、全紙サイズ、 総点数70～80点を展示する	写団はぐる	写真を展示作品にするため各自のテーマで撮影したものを会員同士の意見で検討し合ったが写真展に来てくれた方々の意見に、馴れ合いになってグループの作品造りへの突っ込み不足を気付かされた。天候の悪い中、何度も来てくれた方、肩の凝らない写真談義に心温まる交流の場となった。	写真表現の多様性考えながら独りよがりにならない写真の向上をめざす。諸先輩の知識を参考にし変化する社会情勢の中での写真のあり方、庄内地域を意識したテーマの捉え方を考え、生涯学習の場として写真を続けていきたい。
38	鶴岡吹奏楽団 第34回定期演奏会	鶴岡吹奏楽団による、 吹奏楽の名曲やポピュラー曲 等で送る演奏会 指揮:小塚 類	鶴岡吹奏楽団	今回は荘銀タクト鶴岡での初めての定期演奏会なので、第1部では祝典をテーマに、第2部ではお祝いに欠かせないお酒をテーマにプログラムを構成し、前日からの大雪を融かすような熱気に包まれた会場となりました。	これからも「鶴吹」の愛称で地域に根ざす社会人吹奏楽団として、オーケストラとは違った吹奏楽の力強さや温かさ等の魅力を表現し、地域の吹奏楽の発展に貢献できますよう、より一層精進して参りたいと思います。

5. 各地域文化祭(芸術祭協賛事業)実施状況一覧

地域	事業名		実施日	会場	参加者 (出品者) 数	作品数	入場者 (延)数
藤島	第47回藤島芸術文化祭	芸能発表部門	10/28(日)	藤島地区地域活動センター 大ホール	70	18	300
		展示部門	10/26(金)~10/28(日)	藤島地区地域活動センター	106	245	1,005
	第29回ふじしま音楽祭		11/3(土・祝)	藤島地区地域活動センター 大ホール	346	16	1,300
羽黒	第34回はぐろ秋まつり芸術文化祭	芸能発表会	11/4(日)	羽黒コミュニティセンター	178	18	300
		作品展	11/2(金)~11/4(日)	羽黒体育館アリーナ	827	1,220	620
櫛引	第50回くしびき文化祭	研修部門	10月14日(日)	河北町・天童市	15	—	—
		展示部門	11月2日(金)~4日(日)	櫛引生涯学習センター	526	677	1,101
		まなびいステージ	11月18日(日)	櫛引生涯学習センター	13団体 153名	13演目	350
朝日	平成30年度あさひ産業文化まつり	芸能発表部門	10/27(土)・11/3(土・祝)	あさひ小学校体育館・朝日中 学校体育館・朝日中央コミュニ ティセンター大集会室	370	23	500
		作品展示部門	10/27(土)~11/4(日)	朝日中央コミュニティセンター	1,069	1,169	1,300
温海	平成30年度(第35回)温海文化祭	ステージ部門	11/3(土・祝)	温海ふれあいセンター	188	20	900
		展示部門	10/26(金)~11/4(日)	温海ふれあいセンター	515	750	1,350

6. 各地域文化祭(芸術祭協賛事業)の反省点と来年度への抱負

地域	事業名		感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
藤島	第47回藤島芸術文化祭	芸能発表部門	各団体からの協力でスムーズに運営できた。会員が日頃の練習の成果を発揮し、観客はもちろん出演者も楽しみながら発表できた。毎年恒例となった抽選会も好評であり、今後も継続していきたい。	地域のイベントの減少等により、発表の機会が減っているので、内容を更に充実させ、芸能発表会を継続していきたい。
		展示部門	会員の高齢化により例年準備・後片付けに苦労しているが、芸能部門会員・男性庁舎職員の手伝いで比較的スムーズだった。展示は毎年完成度が高い作品になっており、入場者からも好評だった。	多くの団体で会員の減少と高齢化が問題となっているので、会員増加・団体の新規加入を促進していきたい。
	第29回ふじしま音楽祭		実行委員、中高校生ボランティアの協力により、全体的にスムーズな運営だった。様々な分野の音楽、色とりどりの演出に観客が魅了され、会場全体が盛り上がり、素晴らしい音楽祭となった。また、地域の方々の繋がりも密になった。	来年度は節目の第30回音楽祭となるので、実行委員会を立ち上げ、記念事業を企画・運営していきたい。
羽黒	第34回はぐろ秋祭り芸術文化祭	芸能発表会	出演団体・演目数は昨年より若干減ったものの、幼児から高齢者まで幅広い年代の歌や踊りなど、各団体が日頃の練習の成果を十二分に発揮し、たくさんの観客に楽しんでいただくことができた。また、フィナーレでは観客も一緒に「鶴岡市民歌」を歌い、盛会に終えることができた。	より多くの観客に鑑賞していただくよう、関係機関と連携しながらPRに努め、さらに充実したステージになるよう取り組んでいきたい。
		作品展	保育園、小中学校をはじめ、羽黒高校や芸術団体、個人の作品が多数出品され、また、地域交流作品として藤島芸術文化協会に所属する小林功氏の絵画も展示することができ、見ごたえのある展示となった。期間中、天候にも恵まれたたくさんの方々に来場いただき、創意工夫を凝らした作品が来場者の目を楽しませてもらった。	個人等一般作品の出品者数、作品数ともに昨年を上回り、篆刻や金継ぎなど新しい分野の作品もあり楽しませてくれたので、来年度も実行委員を中心に地域の方々に声掛けをしていきたい。

地域	事業名		感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
櫛引	第50回くしびき文化祭	研修部門 「文化財めぐり」	<ul style="list-style-type: none"> ・研修先は河北町紅花資料館・天童市出羽桜美術館 河北町観光ガイドによる丁寧な説明と興味深い話を交え、研修内容を高めてくれた ・当日は天候にも恵まれ有意義な研修となった。参加者からは好評であった 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の文化意識向上と住民交流も兼ね、文化祭時期に企画、実施し継続していきたい ・参加者より見たい文化財や研修先の希望・テーマ等アンケートを実施し、今後につなげたい
		展示部門	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民・地域外からも多数出展いただき、大変良かった ・著名な画家の特別展示や、地域保育園、小・中学校、福祉施設の作品展示やサークル活動の発表と多様な作品を展示することにより、地域の芸術文化意識の高揚を図ることができた ・生花展示コーナーとは別に、作品展示各所に生け花の展示もあることで、作品と調和し良かった 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年より指定管理者運営となり、いろいろな面で大変だったと思うが、反省や課題を検討し来年につなげたい ・保育園・小中学生の人数も減少の為、出品点数も減少傾向であるが、芸文協会員、サークル団体、福祉施設など日頃の成果の発表の良い機会であり、今後も連携し取り組んでいきたい
		まなびいステージ	<ul style="list-style-type: none"> ・櫛引西小金管バンド、伝統保存会や芸文協加盟団体、サークル団体等、多種多様な世代と演目の内容で、大いに盛り上がった。司会進行も専任を依頼しスムーズだった ・特別出演のプロサクソプレーヤー松本健一さんと地元の仲間たちとのバンド演奏は見ごたえ、聞きごたえがあり大変素晴らしく、来場者数の増加に反映され、好評であった 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の活動の成果を発表する良い機会であり継続して開催していきたい。今後もより多くの出演者、来場者が得られるように各関係団体と連携しながら楽しいステージ作りに努めていきたい。 ・伝統芸能や新規団体の参加も呼びかけながら、地域の特色ある発表になればと思う

地域	事業名		感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
朝日	平成30年度 あさひ産業文化まつり	芸能発表部門	<p>10月27日のあさひ小学校学校祭では、学年ごとにダンス、劇、合奏、合唱の発表があり、また朝日中学校合唱祭では、クラスごとの迫力ある歌声、美しいコーラスが響き、それぞれ聴衆を魅了した。</p> <p>11月3日には朝日芸術文化協会加盟団体等による11団体14演目の芸能発表が行われ、和太鼓や大正琴、コーラス、民謡、舞踊、ダンス、詩吟などの発表を、出演者、観客ともに楽しむことができた。</p>	<p>地域のサークルや団体が日頃の成果を発表し、地域住民が文化活動に触れる良い機会であるため、さらに充実したステージとなるよう努めていきたい。</p> <p>また、あさひ小学校学校祭と朝日中学校合唱祭は、あさひ産業文化まつりのプログラムに加わっており、小中学生の学習の成果を地域住民に披露、鑑賞してもらい良い機会となっている。</p>
		作品展示部門	<p>今年度も書道・絵画・俳句部門に小中学生ほぼ全員から出品があり、児童・生徒の作品の鑑賞に家族等の来場者も多かった。また、俳句・短歌・川柳合同展や、写真、生け花、創作品等の展示など多彩な作品展示を行うことができた。</p>	<p>小中学生の人数の減少などにより出品数が減少傾向ではあるものの、小中学生が学習の成果を発表し、地域住民がその作品を鑑賞する良い機会であり、今後も各学校と連携を取りながら取り組んでいきたい。また、一般の作品についても芸文協加盟団体等と協力しながら、広く地域の方々からの出品が得られるよう努めていきたい。</p>
温海	平成30年度(第35回) 温海文化祭	ステージ部門	<p>日頃の活動の成果を発表する良い機会であり継続して開催していく。ステージプログラムの改編なども行っているが、参加者からも理解が得られれば、大胆な改編も考えている。</p> <p>今年度は、地域外(温海地域出身者)からのステージ発表者も参加しているので、今後は多方面に声をかけ温海地域のステージに出演してもらえるようにしたい。</p>	<p>今年の文化祭については、作品の展示方法の工夫を行ったが、どこで何を展示しているのかを、わかり易く展示する事を、次年度に改善していきたい。</p> <p>ステージ部門では、学校や保育園に協力してもらい、充実を図っていきたい。</p>
		展示部門	<p>今回、お茶会を野点方式として、ふれあいセンターロビーで実施した。実績として例年より1.5倍の集客があった。関心が高かった事が伺える。</p> <p>作品数が減少していることもあり、展示スペースについて若干コンパクトにまとめてみたところ、反響が多数あった。</p> <p>今後は管内の各種団体と連携して文化祭のあり方も含め、空間づくりを務めていきたい。</p>	

7. 鶴岡市芸術祭参加公演数等の推移

参加公演

年度	鶴岡市芸術祭				県民芸術祭		
	回数	参加公演数	参加団体数	参加者数	入場者数	参加公演数	参加団体数
平成18年度	第1回	39	54	4,224	34,689	17	23
平成19年度	第2回	44	61	4,440	36,505	26	38
平成20年度	第3回	49	68	4,586	41,649	26	38
平成21年度	第4回	46	67	4,369	36,421	32	46
平成22年度	第5回	47	67	4,010	35,874	31	43
平成23年度	第6回	44	63	3,748	31,984	26	38
平成24年度	第7回	46	63	3,411	31,277	33	46
平成25年度	第8回	46	66	3,569	34,556	31	43
平成26年度	第9回	39	49	3,327	24,962	27	36
平成27年度	第10回	42	51	3,316	25,050	26	32
平成28年度	第11回	45	55	3,351	23,129	29	38
平成29年度	第12回	42	52	3,266	22,688	27	35
平成30年度	第13回	40	49	3,223	24,782	26	34

参加公演数 地域別内訳					
鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海
39					
39	2			3	
42	1	1	2		3
39	3	1		1	2
41	2	1		1	2
38	2	1		1	2
40	2	1	1	1	1
40	2	1	1	1	1
34	1	1	1	1	1
37	1	1	1	1	1
41	1	1		1	1
39		1		1	1
37		1		1	1

第13回鶴岡市芸術祭における施設別公演等開催状況

施設名称	参加公演数	参加団体数	参加者数	入場者数	備考
①中央公民館	8	8	294	2,368	展示(3)・公演(5)
②荘銀タクト鶴岡	10	10	481	6,863	公演(10)
③市内の上記以外公共施設	6	7	422	1,305	展示(1)・茶道(2) 公演(2)・文芸(1)
④アートフォーラム	14	22	1,925	13,666	展示(11)・茶道(1) 公演(1)・文芸(1)
⑤その他(民間施設等)	2	2	101	580	公演(2)
合計	40	49	3,223	24,782	

協賛事業(地域文化祭)

	鶴岡市 芸術祭	藤 島		羽 黒		櫛 引		朝 日		温 海	
		参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数
平成18年度	第 1 回	211	1,200	1,287	2,200	1,317	1,774	1,247	1,700	1,003	1,990
平成19年度	第 2 回	172	1,200	1,000	1,390	866	2,022	1,254	1,900	1,164	2,200
平成20年度	第 3 回	636	1,360	915	1,200	809	1,755	1,135	1,900	1,032	2,350
平成21年度	第 4 回	678	1,451	965	727	708	1,692	1,034	2,000	1,138	2,200
平成22年度	第 5 回	705	1,545	1,038	1,146	794	1,665	766	1,950	1,063	2,300
平成23年度	第 6 回	674	1,820	1,224	941	672	1,482	639	1,850	965	2,500
平成24年度	第 7 回	639	1,930	1,022	893	702	1,229	701	1,850	993	2,500
平成25年度	第 8 回	639	1,780	1,022	995	721	1,110	701	1,850	979	2,200
平成26年度	第 9 回	529	1,700	1,024	842	671	1,289	872	1,705	905	2,200
平成27年度	第10 回	516	1,780	957	728	638	1,340	1,205	1,800	779	1,800
平成28年度	第11 回	489	2,470	949	800	698	1,111	1,193	2,250	891	2,250
平成29年度	第12 回	517	2,270	1,062	740	664	1,287	1,213	2,100	644	2,250
平成30年度	第13 回	522	2,605	1,005	920	694	1,451	1,439	1,800	703	2,250

8. 記念事業など

年度	芸術祭回数	分類	公演名等
平成24年度	第7回	賛助公演	第49回現代舞踊合同公演(主催:社団法人 現代舞踊協会東北支部)
平成25年度	第8回	特別参加事業	鶴岡市芸術文化協会創立50周年記念事業 ～ありがとう!明日にむかって～ (主催:鶴岡市芸術文化協会) ◎総合舞台『美しい山河 ここに生命輝く』 ◎総合芸術展『文化と伝統・自然の香り豊かに』
平成27年度	第10回	プレイベント	第10回鶴岡市芸術祭記念プレイベント「まちなかアート鶴岡」
		協賛事業	鶴岡市合併・市制施行10周年記念事業 鶴岡市芸術祭協賛事業 地域文化祭交流ステージ(展示) 藤島:錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部、羽黒:黄雞鶴岡歌会、櫛引:鶴岡吹奏楽団、朝日:白甕社、温海:鶴岡竹友会
平成28年度	第11回	関連イベント	第36回全国豊かな海づくり大会協賛イベント 「海づくりアート鶴岡」～海・山・川～今年も響くアートの風! (主催:全国豊かな海づくりアート実行委員会)
平成29年度	第12回	関連イベント	第3回まちなかアート鶴岡 (主催:市民アート実行委員会)
平成30年度	第13回	賛助公演	第14回洋舞合同公演(H30年7月29日(日) 荘銀タクト鶴岡) 主催:山形県洋舞協会
			2018年全日本大正琴振興会全国大会(H30年9月15日(土) 荘銀タクト鶴岡) 主催:2018全日本大正琴振興会全国大会実行委員会

9. 平成30年度 第56回県民芸術祭開幕事業・第13回鶴岡市芸術祭開幕式典 実施内容

□開催年月日:平成30年9月2日(日)

□開催会場:荘銀タクト鶴岡(鶴岡市文化会館)・鶴岡アートフォーラム

□入場者数:約900名 □入場券:1,000円(高校生以下無料)

開催年月日	会場	部門	参加団体等(順不同・敬称略)	団体数
平成30年 9月2日(日)	鶴岡 アートフォーラム	展 示 (午前9:00~)	白甕社	1
	荘銀タクト鶴岡 エントランス	オープニング セレモニー	展 示 (午前10:00~) 藤島俳句会・墨嘉会・羽黒吟社・朝日俳句の会・きたぐに短歌会・黄雞鶴岡歌会 稲京短歌会・俳誌「月山」鶴岡支部・鶴岡和紙ちぎり絵サークル・畊雅会 鶴岡書道会・書道研究飛雲会・庄内写真研究会・フォトサロン写楽 鶴岡さつき盆栽研究会・古流松應会庄内支部・小原流鶴岡支部 草月流山形県支部鶴岡地区・池坊・遠州流山形支部・龍生派・華道栖草流鶴岡支部	22
		呈 茶 (午前11:00~)	大日本茶道学会鶴岡支部・裏千家淡交会庄内支部鶴岡地区 表千家同門会山形県支部庄内地区・遠州流茶道山形県支部	4
		歓迎アトラクション (午前11:00~)	鶴岡市立東栄小学校(添川獅子踊り) 八沢会(山形大黒舞)	2
	荘銀タクト鶴岡 大ホール	開幕式典 (午後1:30~)	来賓・県内芸術文化団体・鶴岡市芸文協加盟団体 他 開幕斉唱:山形県民の歌「最上川」 山形県立鶴岡北高等学校 音楽部	
		開幕記念公演 総合舞台 『水のファンタジー いのちの輝き』 (午後2:10~)	錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部/シンフォニック荘内流/鶴岡竹友会/藤静会/千川流 さゞ波会/淡井会/日本九重流鶴城清吟会/九重流詩吟学会朝暘清吟会 剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会/庄内謡曲愛好会/田川民話の会/鶴岡土曜会混声合唱団 鶴岡放送児童合唱団/バウムクーヘン/スイング・クレインズ・ジャズ・オーケストラ 男声合唱団デザミ・アンティム/鶴岡吹奏楽団/鶴岡ジュニアオーケストラ 鶴岡ウインドオーケストラ/鶴岡江戸川交流合唱団/ハウオリフラスタジオ/劇団麦の会 劇団いでは/劇団だいこん座/表現舎刻一刻/庄内なつメロ会/AKIKOフラメンコスタジオ 鶴岡市立東栄小学校 東堀越獅子踊り/出羽三山神社/いずみレククラブ 丸岡桐箱踊り等保存会/コーラスぶなの森/社会福祉法人はぐくみ会 ちとせ保育園 念珠関辨天太鼓創成会 【総出演者数(約500名)*スタッフ等含む】	35



《主催》

鶴岡市教育委員会
特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会

《後援》

致道博物館
鶴岡商工会議所
荘内日報社
山形新聞・山形放送
朝日新聞山形総局
毎日新聞山形支局
読売新聞山形支局
河北新報社
NHK山形放送局
山形テレビ
テレビユー山形
さくらんぼテレビ



ポスターデザイン: 特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会
伊藤 玲子

第13回(平成30年度)鶴岡市芸術祭参加公演総括表

平成31年2月作成

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会 事務局
〒997-0346 鶴岡市上山添字文学100 鶴岡市櫛引庁舎内
TEL 0235-57-2008 FAX 0235-57-2117
e-mail tsurugeibun@tiara.ocn.ne.jp